

平成24年度 事業報告書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

学校法人 湊川相野学園

学校法人湊川相野学園 平成24年度 事業報告書
(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

1 法人の概要

1 建学の精神

本学園の教育は、校祖、幸田たま女史の何事にもくじけぬ不撓不屈の湊川精神と、誠を持って貫き通す強い意志の力とを基本とする。

平和を尊び、高い特性と、健全な身体を備え、新時代を即応できる知性や技術を身につけた、有為な社会人を育成する。

2 学園教育目標

・ 創意創造の精神

日々新たにまた日に新たなる意欲をもとに、科学心を啓培し

・ 誠実不壊の信念

和敬協調、自律自修の信念をもって、挙措清楚に意志凜然と

・ 全人的人格形成

高邁なる英知、豊かな情操を涵養して、心身を琢磨し、清く正しく強い、時代に適応できる有為な社会人を育成したい。

3 設置する短期大学・高等学校・幼稚園・保育園の名称及び所在地

(1) 湊川短期大学

(人間生活学科・専攻科健康教育専攻・幼児教育保育学科・専攻科幼児教育専攻)

〒669-1342 兵庫県三田市四ツ辻1430

(2) 三田松聖高等学校(普通科・特進コース・総合コース)

〒669-1342 兵庫県三田市四ツ辻1430

(3) 湊川短期大学附属西舞子幼稚園

〒655-0043 兵庫県神戸市垂水区南多聞台5丁目8-1

(4) 湊川短期大学附属神陵台幼稚園

〒655-0041 兵庫県神戸市垂水区神陵台5丁目8-6

(5) 湊川短期大学附属北摂第一幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成23年4月1日認可

〒669-1544 兵庫県三田市武庫が丘4丁目10番

(6) 湊川短期大学附属北摂中央幼稚園

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目16番

(7) 湊川短期大学附属北摂学園幼稚園

〒669-1337 兵庫県三田市学園7丁目1-3

(8) 湊川短期大学附属キッズポート保育園

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目16番

4 役員・評議員の概要

【役員】

理事	理事長	浅井 祐子	監事	監事	下山隆一郎
	常務理事	小室 烈生		監事	山野上素充
	常任理事	堀 忍			(2名)
	常任理事	大前 衛			
	常任理事	齋藤 孔孝			
	常任理事	原口富美子			
	理事	預り 雅憲			
	理事	柳田 昌三			
	理事	小林 常郎			
	理事	福本 妙子			
	理事	高尾 裕子			
		(11名)			

【評議員】

評議員	評議員	浅井 祐子	評議員	大西 則夫
	評議員	小室 烈生	評議員	大森 雅人
	評議員	堀 忍	評議員	藤田 健一
	評議員	大前 衛	評議員	藪田 榮男
	評議員	齋藤 孔孝	評議員	藤本まり子
	評議員	原口富美子	評議員	大北 一也
	評議員	中島 啓子	評議員	射場 順平
	評議員	久保 廣昭	評議員	柳田 昌三
	評議員	久保 隆	評議員	預り 雅憲
	評議員	中里 博	評議員	尾崎 忠司
	評議員	若嶋 清人	評議員	田仲 正之
			評議員	高尾 裕子
				(23名)

5 設置する学科等の名称及び募集定員と学生・生徒・園児、教職員数

(1) 湊川短期大学

(単位：人)

湊川短期大学	募集定員	収容定員	学生数	教員数		職員数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
人間生活学科	80	160	182	12	25	5	6
幼児教育保育学科	100	200	167	14	20	8	3
専攻科健康教育専攻	10	20	11				
専攻科幼児教育専攻	20	40	6				
合計	210	420	366	26	45	13	9

(2) 三田松聖高等学校

(単位：人)

三田松聖高等学校	募集定員	学則定員	生徒数	教員数		職員数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
特進コース			64				
総合コース			944				
合計	210	270	1008	51	12	7	1

(3) 湊川短期大学附属幼稚園

(単位：人)

	募集定員	認可定員	園児数	教員数		職員数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
西舞子幼稚園	70		185	10	7	0	2
神陵台幼稚園	62		187	12	5	0	1
北摂第一幼稚園	110		233	10	8	1	5
北摂中央幼稚園	100		291	12	10	0	4
北摂学園幼稚園	85		88	7	4	0	7
合計	427		984	51	34	1	19

(4) 湊川短期大学附属保育園

(単位：人)

	募集定員	収容定員	園児数	保育士数		職員数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
キッズポート保育園	17	70	77	14	7	4	4
合計	17	70	77	14	7	4	4

※ 学生・生徒・園児・教職員数2012年(平成24年5月1日現在)

6 主な事業の目的・計画および進捗状況

湊川短期大学

(1) 学内事業

① 免許・資格の取得状況について

平成24年度の実績は、養護教諭二種免許取得12名、介護福祉士資格取得22名、幼稚園教諭二種免許取得66名、養護教諭一種免許取得6名、幼稚園教諭一種免許取得5名、保育士資格取得65名であった。また、①フードサイエンティスト取得7名、②情報処理士取得40名、③医療管理秘書士取得39名、④病歴記録管理士取得39名、⑤レクリエーションインストラクター取得4名、⑥ピアヘルパー取得116名、⑦カウンセリング実務士10名であった。

本年度も、実績を上げるように指導している。

② GPA値による成績優秀者の表彰制度実施—校祖幸田たま賞、学長賞—について

平成24年度の校祖幸田たま賞の受賞は、人間健康1名・生活福祉1名、幼児教育保育学科1名であった。平成24年度後期の成績優秀者表彰(学長賞)は、人間健康3名、生活福祉2名、幼児教育保育学科5名であった。

③ 実習について

実習は、免許・資格取得に欠かせないものである。例えば介護福祉士資格を取得するためには、介護実習(実習Ⅰ-①・実習Ⅰ-②・実習Ⅱ)をクリアする必要があり、実習Ⅱが修了しないと次に進めない。また、養護教諭二種免許を取得するために養護実習、臨床実習、幼稚園教諭二種免許の取得には幼稚園教育実習、保育士資格の取得には、保育実習、施設実習が計画され実施されている。

④ 高等学校への大学講師派遣等高大連携について

高等学校への本学教員派遣による出前授業について、教員の専門分野を生かした出前授業内容の一覧表を作成し、各高校へ配布している。昨年度は、県立氷上高等学校やクラーク記念国際高等学校(三田分室)へ教員を講師として派遣した。また、特別非常勤講師として、各学科専攻の教員を県立有馬高等学校(定時制)へ、生活福祉専攻の教員を県立三田祥雲館高等学校へ講師として派遣した。

(2) 研究事業

① 平成25年度に短期大学基準協会の第三者評価を受けることにしているため、平成24年度の自己点検・評価は、その基準、テーマ、区分に準じて実施し、平成25年3月に報告書を刊行した。

② 専攻科(健康教育専攻・幼児教育専攻)の充実

専攻科幼児教育専攻においては平成21年度に、健康教育専攻においては、平成24年度に大学評価学位授与機構による再課程認定を受け、適正な教育が行われていることが確認されている。それぞれ基本となる学科、専攻の月に一度の定例会議の中で、短大教育との連続性と学士教育の質の充実について、研究協議している。

③ 研究紀要の発刊について

研究紀要の原稿を学内に求め、年1回発刊しており、広く教員の研究発表の場になっている。常勤に限らず、非常勤講師等にも投稿の門戸を開いている。平成24年度は非常勤講師3名（内1名は共著）が投稿しており、その他として卒業生2名、学園教職員1名が共著者として投稿した。平成25年2月に第49集を発刊した。

④ 平成16年度から本格的にFD（教育改善）研修に取り組んできた。特に、学科会のレベルで、学生の授業評価アンケートや、各授業での授業展開の工夫などを検討の場にのせた研修を実施している。平成24年度に「学習成果」を具体的に定めたことをうけ、PDCAの一環としたFD研修を始めている。

⑤ 平成23年度科学研究費補助金において、教員1名の採択があり（基盤研究C）、研究を行った。また、他に1名が他大学の教員との研究分担者となった。

(3) 国際交流

カンタベリースポーツアンドマネジメントカレッジ(ニュージーランド)及び驪州大学(韓国)と教育交流協定を締結している。驪州大学との協定により、驪州大学の観光日本語科1年生を日本語研修生として受け入れる予定であったが、相手校の都合で取り止めになった。

(4) 課外事業

① 介護技術講習会・キャリア形成訪問指導事業について

介護福祉士資格を得るには、現在、「養成校ルート」と「実務経験ルート」がある。うち実務経験ルートでは、3年の実務経験の後、国家試験に合格すれば資格が授与される。国家試験は、筆記試験と実技試験がある。受講すれば実技試験が免除になる。「介護技術講習会」を本学では昨年度、2回開講した。（1回定員32名、受講料60,000円）これは、地域の施設等からの強い開催要望に応えたものである。

兵庫県は全額補助事業として、介護職員のキャリアアップを支援する「キャリア形成訪問指導事業」を実施している。本学でも、キャリア形成訪問指導事業を実施した。1回2時間程度で51回教員を派遣した。内容としては、生活福祉専攻の教員を各施設へ派遣し、生活支援技術の研修や介護福祉士国家試験受験対策講座などである。

② 地域支援教育事業（市民大学・出前講座等）について

地域支援教育事業としては、市民大学があげられる。平成24年度で24年目を数え、毎年1回実施している。受講者の中には、連続して何年も参加してくださる人も多い。平成24年度も8月から9月にかけて4講座実施した。受講生総数は450名弱であった。

講座は、「地域に貢献する短大」という位置づけから、地域への出前講座を実施している。特に、三田高齢者大学OB会(三九会)からは、毎年講師依頼があり、9~10人の教員を講師として派遣している。

この他に、図書館・第一体育館の開放、地域の行事への参加協力、国際交流協会への支援、丹波青い鳥学級（視覚障害者社会学級）との交流を行っている。

③ 教育相談活動について

教育相談については、地域貢献の一助となるよう教育相談実践研究センターとして活動

しており、平成24年度は本学附属幼稚園、保育園の保護者を対象とした教育相談研修会を実施した。

(1) 学校運営の改革・改善

① 男女共学化の推進

近年、少子化等の影響により、本校においても入学志願者数が減少傾向にあったことから、平成16年度に男女共学化を発足させた。この結果、入学志願者数は、次のように増加してきており、他府県からの受験も増加している。

()は男子数

(毎年5月1日現在、単位：人)

年度	募集定員	志願者数	入学者数	全生徒数	1年	2年	3年
H19年度	210	1,618(706)	348(171)	827(346)	349	279	199
H20年度	210	1,706(857)	377(216)	949(485)	377	316	256
H21年度	210	1,689(837)	311(168)	915(485)	311	320	284
H22年度	210	1,717(881)	370(242)	957(570)	370	285	302
H23年度	210	1,815(990)	382(242)	1,000(616)	383	346	271
H24年度	210	1,807(966)	323(204)	1,008(636)	334	347	327

② コース制導入による教育課程の再編

平成15年度から“特別進学コース”と“総合コース”を設置した。

()はクラス数

(毎年5月1日現在、単位：人)

年度	特進コース	総合コース
平成19年度	74(3)	753(19)
平成20年度	80(3)	869(21)
平成21年度	69(3)	846(21)
平成22年度	65(3)	892(22)
平成23年度	60(3)	940(24)
平成24年度	64(3)	944(24)

③ 本校と短大、幼稚園との連携

幼児教育等の講義・実習を履修

(2) 特色ある教育の実施

特進コースにおいては、特に、有名私立大学よりさらに上位校を目指す生徒に対し、2年次から文・理両コースに分けて、少人数クラスでの授業を実施している。

また、特進及び総合の両コースにおいては、サテライン及びeラーニングによる授業を展開し、生徒の学力向上と本校の進学率の向上を図っている。

そのほか、他校にない特色として、茶道を正課教育に取り入れている。また、24年度より、本学園の幼稚園との連携も視野に入れた、総合学習における農園実習など、新たな事業の展開を図る。

(3) 平成24年度の主な行事

4月7日	入学式
6月15日、16日	松聖祭(文化の部)
6月23日	”(体育の部)
8月1日、24日	学校見学会
8月29日・30日	兵庫県私立中学・高等学校連合会主催 第7回兵庫私立中学・高等学校展(合同説明会)大丸神戸店
1月20日～25日	2年生 ハワイへの修学旅行(第8回目)
2月22日	第60回卒業式

湊川短期大学附属幼稚園

1 附属幼稚園記念式典等の開催

(1) 湊川短期大学附属北摂第一幼稚園創立30周年記念式典
と き 平成24年10月31日

(2) 湊川短期大学附属北摂学園幼稚園創立20周年記念式典
と き 平成24年10月23日

(3) 研究大会兵庫大会の保育所(園)・幼稚園部会の開催

第61回近畿放送教育研究大会兵庫大会・第62回近畿学校視聴覚教育研究大会兵庫大会の保育所(園)・幼稚園部会の公開保育及び研究実践交流会が西舞子幼稚園で開催いたしました。

と き 平成24年11月22日

内 容 研究主題「メディアを活用して、生きる力を育てよう」
・ 公開保育、研究実践交流会

2 子育て支援事業

①学園独自の事業

・ 2歳児保育<あいあいルーム・つぼみ教室・いちご教室・一時預かり わくわくルーム> 有料
平成24年度園児数

西舞子幼稚園	親子同伴	12名	
神陵台幼稚園	親子同伴	10名	
北摂第一幼稚園	親子同伴 (木)	10組20名	子どもだけ(3歳児)(火)10名
北摂中央幼稚園	親子同伴 (木)	42名	子どもだけ 27名
北摂学園幼稚園	親子同伴 2歳児(月)	17名	子どもだけ 3歳児(火) 28名 わくわくルーム 1歳以上1日5名

・ 小学校はじめ地域の人たちとの交流事業

小学校・中学校・高校・大学・老人クラブ・施設・自治会

②県の事業

・ 預かり保育(保育推進事業) 有料

早朝・延長・休業日 7:00~19:00

月曜日・祝日・8月12日~18日・12月28日~1月5日を除く毎日実施

- ・わくわく陽だまり活動（わくわく幼稚園） 教育費等実費徴収
就学前未就園児（満3歳～5歳）を同年齢のクラスに入れて幼稚園生活を経験させる。
年間48日以上、1日2時間以上。

- ・幼稚園幼児教育相談所開設
年間72日

- ・親子学級
年間14回以上

- ・すこやか広場（三田園）

③神戸市の事業

- ・ふれあい・すこやか広場（神戸園）
月に2回程度

④三田園の事業

- ・北摂学園幼稚園が三田市地域子育て支援センター拠点園になっている。
- ・北摂学園幼稚園と北摂中央幼稚園が三田市地域子育てステーション指定園になっている。

⑤特別支援教育推進事業

- ・県・市の援助で、特別支援が必要な子どもの為に必要な人的配慮をしたり、アドバイザーやコーディネーターの助言や指導を受けたりしている。

(2) 附属幼稚園・保育園職員研修

回数	年 月 日	研 修 内 容	参加人数
1	H24. 8. 2	「幼稚園の遊びが小学校の学習にどう結び ついているか」	47名
2	H24. 7. 26～27	合同研修会	48名

※第1回目はキッズポート保育園と合同研修。

※その他、県主催、市主催、県私立幼稚園協会主催、市私立幼稚園主催の研修が、設置者・園長・主任・10年目・一般・新任者対象等、多数あり、それぞれの研修会に参加している。

湊川短期大学附属キッズポート保育園 平成24年度事業報告

(1) 在籍状況(定員70名)

70

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	3	3	3	5	8	9	9	10	10	10	10	10	90
1歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	14	14	14	14	160
2歳児	14	14	14	15	15	15	15	15	15	15	15	15	177
3歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
4歳児	14	14	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13	159
5歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
計	77	77	77	79	82	83	83	84	85	85	85	85	982
入所率	110%	110%	110%	113%	117%	119%	119%	120%	121%	121%	121%	121%	117%

- * 4月2日現在は定員の115%以下しか受入できない。(国よりの通達)
- * 5月1日より定員の120%以上の受入可能。但し、通年平均で120%を超える入所数が2年続くと定員増の申請を取らなくてはならない。

(2) 記念事業

創立10周年記念式典事業を11月24日(土)に行った。
記念事業の一環として、園名のパネル掲示(道路側フェンス)に設置した。

(3) 子育て支援事業

- ・地域子育て支援センター事業の体験保育(0, 1歳児)を16回実施した。
- ・三田市子育てステーション事業を毎月1回実施した。
- ・兵庫県委託事業の乳幼児応援事業は年48回行った。
- ・障害児保育の受け入れ園になったが、今年度は該当児無し。

(4) 職員研修

・新任研修、附属6園研修、三同教、阪神同教、むつほ会研修、体育あそび講習会、造形教育、カウンセリング、教育フォーラム、子育てフォーラム、特別支援研修、給食施設協議会、児童虐待防止、運動あそび、特別支援教育、保幼小中連携研修等を実施した。

(5) 購入・修繕等

- ・ビデオ編集用のパソコンを1台購入した。
- ・複合機を1台購入した。

(6) 異年齢交流・連携事業活動

・とらいやるウィーク2校、篠山鳳鳴高校体験保育、湊川短期大学「湊川のあゆみ」すずかけ台小学校との交流会、全国花のまちづくり大会に出展(奨励賞を頂く)
よこやま保育園、北摂中央幼稚園、地域子育て家庭との交流、保育士養成校の保育、実習生受け入れ、有馬高校ボランティア等を実施した。

(7) 広報・社会活動

- ・園長: 多世代交流館ふらっと「子育てすくすく相談」講師
子育てフォーラム実行委員
社会福祉法人 桂樹会理事
三田給食施設競技会保育所・幼稚園・学校部会長
日本保育学会員
湊川短期大学専攻科非常勤講師・短大ゲスト講師
就学前接続カリキュラム委員

(8) 園内研究(委員会)活動

- ・人権研究委員会、ひやりハット委員会、幼児保育会議、乳児保育会議
- ・離乳食会議、給食委員会等を行った。

(その他) むつほ会の会長にキッズポート保育園の保育士が就任、1期務めた。
キッズポート保育園保育士が湊川短期大学のキャリアデザインの授業で、保育士の職業について語った。

2 事業の概要

(1) 平成24年度の主な事業

(法人)

理事長室 テレビ	195,000	上新電機(株)
正門ビデオカメラ	249,900	総合警備保障(株)
松聖庵改修工事	682,500	三日月建設(株)
財務会計システムサーバー	732,900	(株)さくらKCS

(短大)

東側通路地下埋設水道管漏水修繕工事	137,760	(有)なべい設備商会
学生会館 消防設備受信盤修理	283,500	(株)ゼネラル商会
4号館 411教室チャイム修繕	189,000	ミキ通設(株)
高圧受電設備改修工事	1,744,365	(有)花崎電気工事
第一体育館 屋上・玄関庇屋上防水工事	4,294,500	山陽建材(株)
第一体育館 洋式便器取替	266,000	(有)なべい設備商会
第一体育館 水銀灯取替	173,250	三日月建設(株)
第一体育館 天井下地アングル固定修理	194,250	〃
図書館 ブラインド修理	132,000	(株)大東

(学内寮)

翠光寮 排水管路修繕工事	171,150	(有)なべい設備商会
菊水寮 大規模改修工事	78,529,000	三日月建設(株)
楠木寮 浴室給湯オイルタンク取替	473,550	(株)巴商会
楠木寮 浴室給湯器	3,003,000	〃
菊水寮 カーテン	747,600	インテリアかとう

(高校)

本館 増築・校舎改修工事	309,960,000	前田建設工業(株)
本館増築工事及び校舎改修工事に伴う地中障害撤去工事代	945,000	前田建設工業(株)
茶室 空調機修繕	570,000	(有)花崎電気工事
本館・東館 空調機更新工事	19,950,000	〃
記念体育館 教官室等改修工事	4,368,000	三日月建設(株)
宿泊施設 (松聖館)	52,000,000	〃
敷地測量建物配置図作成	1,837,500	〃
トイレ 手洗センサー修繕	115,500	〃
実習農園看板	152,250	(有)シーテック
ヤマハ ビブラフォン	504,000	森岡楽器
屋根テント付ブルペンゲージ 2台	1,165,500	清立商工(株)
冷蔵庫 (パナソニック業務用)	284,800	サイワキ無線
ヤマハ B♭クラリネット 2台	680,000	森岡楽器
パールスネアドラムオリーブトゥーリー	175,490	〃
電話取替工事	1,300,000	ミキ通設(株)
本館増築棟カーテン工事	735,000	(株)インテリアかとう
掲示板屋外用引戸型 3台 (卒業生寄付)	444,000	(株)堀口
掲示板屋外用板面ホワイトボード (卒業生寄付)	163,000	(株)堀口
テント2張 (卒業生寄付)	207,900	(株)堀口
ポール型太陽電池時計取替修繕 (卒業生寄付)	390,000	(株)堀口
理科室用教員用実験台・生徒用実験台	1,496,250	アイリスチトセ(株)
理科室用流し台	110,250	アイリスチトセ(株)
教員用机上台55台・平机55台・3段ワゴン	2,935,625	アイリスチトセ(株)
教員用机上台6台・平机6台・3段ワゴン6台	333,144	アイリスチトセ(株)
職員机上台5台・平机5台・3段ワゴン5台	266,875	アイリスチトセ(株)

集会室用椅子400台	1,260,000	アイリスチトセ(株)
応接テーブル他	773,976	アイリスチトセ(株)
紙折機NP-270	122,000	(株)大東
電動裁断機	294,000	〃
大型電源装置 島津NES-40DM	803,250	十倉康吉商店
東館屋上給水管漏水修理他	155,190	(有)なべい設備商会
記念体育館給水主管閉塞修理工事	105,000	〃
道路補修工事	1,680,000	前田建設工業(株)
総合グランド管理棟設計監理委託料	3,990,000	ナカタ設計
本館増築・校舎に伴うセコム配線工事代	399,000	セコム(株)
クラブ室(男子更衣室)床張替工事	241,500	三日月建設(株)

(西舞子幼稚園)

プール	1,580,000	(株)ジャクエツ神戸
ヤマハ 移動式シャワーセット	117,000	〃
排水工事	127,000	ケ-アイリビング
わたがし機	152,000	チャイルド社

(神陵台幼稚園)

遊戯室・保育室 カーテン取替修繕	650,300	ギャラリーヒロタ
電気幹線改修工事	520,000	(有)花崎電気工事
遊戯室 室外機改修工事	273,000	(株)弘栄テック
大型遊具 みんなで遊ぼう2階建バス	718,000	神戸学習社

(北摂第一幼稚園)

トイレ戸取付工事	199,500	三日月建設(株)
遊戯室 塗装工事	241,500	〃
茶室 エアコン	190,500	ヤマダ電機
外部廊下照明器具修繕工事	207,900	但南建設(株)
壁面鉄部塗装工事	160,650	〃
遊戯室 サッシゴム取替	202,650	〃
ワンタッチテント	110,000	フレーベル館
リコピーンター	115,550	(株)大東

(北摂中央幼稚園)

インターホン取替工事	200,000	(有)花崎電気工事
------------	---------	-----------

(北摂学園幼稚園)

玄関 鉄骨塗装工事	178,500	三日月建設
保育室(さくら・ふじ) 空調修繕	220,500	〃
飼育小屋	614,000	フレーベル館
遊戯室 床張修繕工事	798,000	但南建設(株)
汚水管詰修理	278,250	三日月建設

(キッズポート保育園)

コピー複合機	990,000	(株)リコー
チャイルド 非常用ソーラー電源セット	150,000	チャイルド
NEC 編集用パソコン	177,156	NEC
幼児木製椅子	195,000	(株)ジャクエツ神戸

3 財務の概要

学校法人 湊川相野学園

◇ 計算書類の読み方 ◇

学校会計の収支計算は、企業の損益計算に近い計算構造の消費収支計算と、負債性収入（借入金等）及び資産取得に要した支出も含めた資金の流れを明らかにする資金収支計算があります。

消費収支計算では、授業料等の負債とならない収入を「帰属収入」といい、ここから資産の取得（施設・設備の購入）相当額等を基本金組入額として控除した額を「消費収入」としています。

この消費収入は、人件費、減価償却額を含めた教育研究経費および管理経費、借入金利息等、当年度で消費してしまう消費支出に充てます。消費収支計算は、この消費収入と消費支出の均衡状態を明らかにすることを目的としています。もし、このバランスがとれず消費支出超過（赤字）ということになれば、健全な財政状態とはいえません。赤字解消に努力しなければ、教育・研究活動に支障をきたすことになりかねません。

一方、資金収支計算は、その年度の教育・研究諸活動に対応する資金の使途（資金支出）とこれに対する資金の調達（資金収入）のすべてを明らかにしたものです。

通常の研究教育に関わる収入・支出とともに、施設の建設や借入金等も含んだ全ての資金を伴う収入・支出が掲載されており、大まかな区分ではありますが学校にどういった収入がありこれをどう使っているか、また、資金繰りの健全性があるかを表しています。

基本金組入れは、学校がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持することを要求されていることから、基本金対象資産として定められた資産相当額は、明確に区分し、消費支出に充てるべきでないという学校法人会計の基本的な考え方に基づく会計処理です。

この考え方から、前述のとおり基本金は、帰属収入（＝借入金等のように学校の負債となる収入以外の収入）から基本金対象となる資産相当額を基本金組入額として控除して組入れます。更に、消費収支計算において、消費収入として帰属収入から基本金組入額を控除しても、なお消費支出と均衡することが求められます。

ただし、固定資産の取得が借入金による場合は、その収入が帰属収入とならないため、取得年度では基本金組入れを行わず、帰属収入で借入金を返済したとき、その都度組入れることになっています。

なお、基本金および基本金の対象となる資産は、具体的に次のものをいいます。

① 第1号基本金

施設・設備などの固定資産（図書を含む）の取得額

② 第2号基本金

将来の施設取得等のために収受した寄付金等を、あらかじめ計画的に積み立てる金銭等資産の額

③ 第3号基本金

奨学金等の基金として保持し運用する金銭等資産の額

④ 第4号基本金

恒常的に保持すべき資金（消費支出の1カ月分）

以上のように、基本金には、必ず対応する資産がありますが、基本金自体は何らの資産ではありません。基本金は、学校が継続して維持すべき資産を概念的に金額で表した規模ということになります。

資金収支計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位 千円)

支出の部				収入の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,244,965	1,249,656	△ 4,691	学生生徒等納付金収入	1,143,388	1,135,765	7,623
教育研究経費支出	276,050	282,127	△ 6,077	手数料収入	34,675	34,932	△ 257
管理経費支出	231,196	230,406	790	寄付金収入	12,183	11,386	797
借入金等利息支出	757	757	0	補助金収入	660,168	661,526	△ 1,358
借入金等返済支出	6,660	6,660	0	資産運用収入	64,944	67,429	△ 2,485
施設関係支出	384,514	388,874	△ 4,360	資産売却収入	450,020	350,000	100,020
設備関係支出	26,787	31,927	△ 5,140	事業収入	33,608	33,768	△ 160
資産運用支出	431,554	536,592	△ 105,038	雑収入	106,753	117,560	△ 10,807
その他の支出	268,503	420,901	△ 152,398	前受金収入	239,310	234,485	4,825
予備費	0	0	0	その他の収入	685,183	933,940	△ 248,757
資金支出調整勘定	△ 84,633	△ 94,822	10,189	資金収入調整勘定	△ 329,950	△ 346,565	16,615
次年度繰越支払資金	2,198,336	2,065,554	132,782	前年度繰越支払資金	1,884,407	1,884,406	1
支出の部合計	4,984,689	5,118,632	△ 133,943	収入の部合計	4,984,689	5,118,632	△ 133,943

消費収支計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位 千円)

消費支出の部				消費収入の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
人件費	1,244,965	1,255,215	△ 10,250	学生生徒等納付金	1,143,388	1,135,765	7,623
教育研究経費	402,889	413,028	△ 10,139	手数料	34,675	34,932	△ 257
管理経費	250,237	249,730	507	寄付金	12,183	11,417	766
借入金等利息	757	757	0	補助金	660,168	661,526	△ 1,358
資産処分差額	0	205	△ 205	資産運用収入	64,944	67,429	△ 2,485
徴収不能引当金繰入額	0	20	△ 20	資産売却差額	0	0	0
消費支出の部合計	1,898,848	1,918,955	△ 20,107	事業収入	33,608	33,768	△ 160
当年度消費収入超過額	△ 261,190	△ 284,860		雑収入	106,753	120,048	△ 13,295
当年度消費支出超過額	0	0		帰属組合計	2,055,719	2,064,885	△ 9,166
前年度繰越消費収入超過額	596,902	596,902		基本金組入合計	△ 418,061	△ 430,790	12,729
基本金取崩額	0	0		消費収入の部合計	1,637,658	1,634,095	3,563
翌年度繰越消費収入超過額	335,712	312,042					

貸借対照表

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位 千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	6,706,699	6,789,074	△ 82,375
(1)有形固定資産	4,207,652	3,936,329	271,323
(2)その他の固定資産	2,499,047	2,852,745	△ 353,698
流動資産	2,143,420	1,944,727	198,693
合計	8,850,119	8,733,801	116,318

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	226,513	231,137	△ 4,624
流動負債	363,607	388,595	△ 24,988

第1号基本金	7,836,957	7,406,167	430,790
第4号基本金	111,000	111,000	0

消費収支差額	312,042	596,902	△ 284,860
--------	---------	---------	-----------

合計	8,850,119	8,733,801	116,318
----	-----------	-----------	---------

例年より教育研究経費と管理経費との割合で、管理経費が多いのは、短期大学、菊水寮の大規模改修工事を行なった為です。

貸借対照表においては、有形固定資産が増加したのは、主に高等学校の管理棟増築分です。
その他の固定資産が減少したのは、主に学園施設設備拡充積立資産を取り崩した為です。
流動資産が増加したのは、

過去三年の財務の推移表

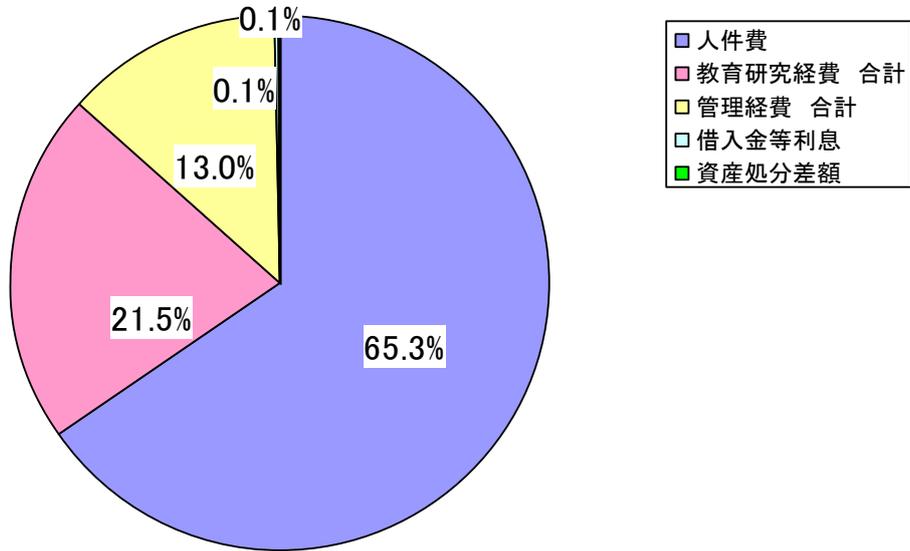
単位 千円

消費収支計算書	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
	短大333名 高校957名 幼稚園822名 保育所76名			短大344名 高校1,000名 幼稚園834名 保育所77名			短大349名 高校1008名 幼稚園998名 保育所77名		
大科目	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
学生生徒納付金	1,040,330	56.0%		1,072,711	55.9%		1,135,765	55.0%	
手数料	34,340	1.8%		35,667	1.9%		34,932	1.7%	
寄付金	9,523	0.5%		14,033	0.7%		11,417	0.6%	
補助金	556,910	30.0%		662,839	34.5%		661,526	32.0%	
資産運用収入	32,142	1.7%		37,920	2.0%		67,429	3.3%	
資産売却差額	1,160	0.1%		600	0.0%		0	0.0%	
事業収入	152,318	8.2%		33,758	1.8%		33,768	1.6%	
雑収入	30,265	1.6%		63,156	3.3%		120,047	5.8%	
帰属収入合計	1,856,988	100.0%		1,920,684	100.0%		2,064,884	100.0%	
基本金組入額合計	△85,918	-4.6%		△42,211	-2.2%		△430,790	-20.9%	
消費収入合計	1,771,070	95.4%		1,878,473	97.8%		1,634,094	79.1%	
人件費	1,083,692	58.4%		1,234,217	64.3%		1,255,215	60.8%	
(教育研究経費支出)	210,312	11.3%		233,475	12.2%		213,263	10.3%	
(奨学費支出)	53,051	2.9%		51,223	2.7%		68,864	3.3%	
(減価償却額)	125,789	6.8%		129,659	6.8%		130,901	6.3%	
教育研究経費 合計	389,152	21.0%		414,357	21.6%		413,028	20.0%	
(管理経費支出)	155,568	8.4%		168,309	8.8%		231,036	11.2%	
(減価償却額)	18,425	1.0%		18,649	1.0%		18,694	0.9%	
管理経費 合計	173,993	9.4%		186,958	9.7%		249,730	12.1%	
借入金等利息	1,191	0.1%		974	0.1%		757	0.0%	
資産処分差額	84,060	277.7%		962	1.5%		204	0.2%	
徴収不能引当金繰入額	962	0.1%		507	0.0%		20	0.0%	
消費支出合計	1,733,050	93.3%		1,837,975	95.7%		1,918,954	92.9%	
当年度消費収入超過額	38,020			40,498			△284,860		
前年度繰越消費収入超過額	518,351			556,371			596,902		
基本金取崩額	0			33			0		
翌年度繰越消費収入(支出)超過額	556,371			596,902			312,042		

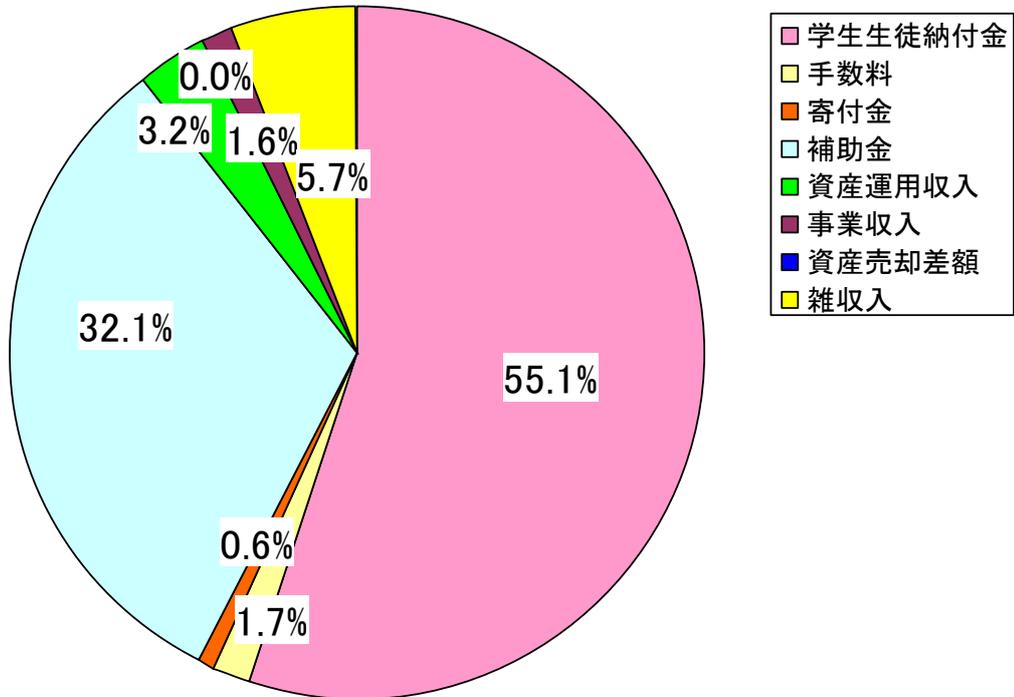
単位 千円

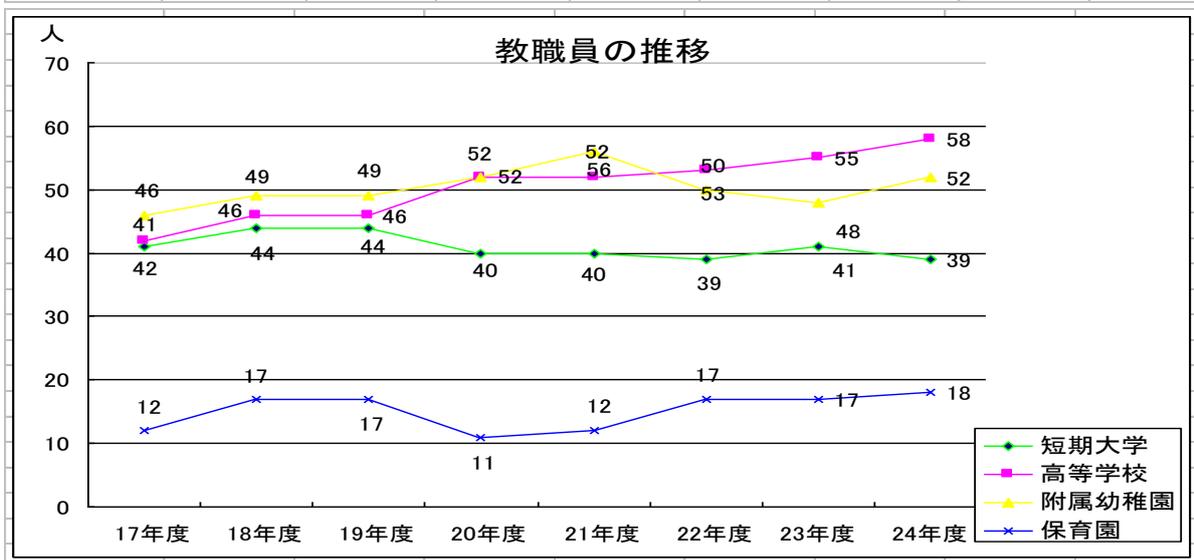
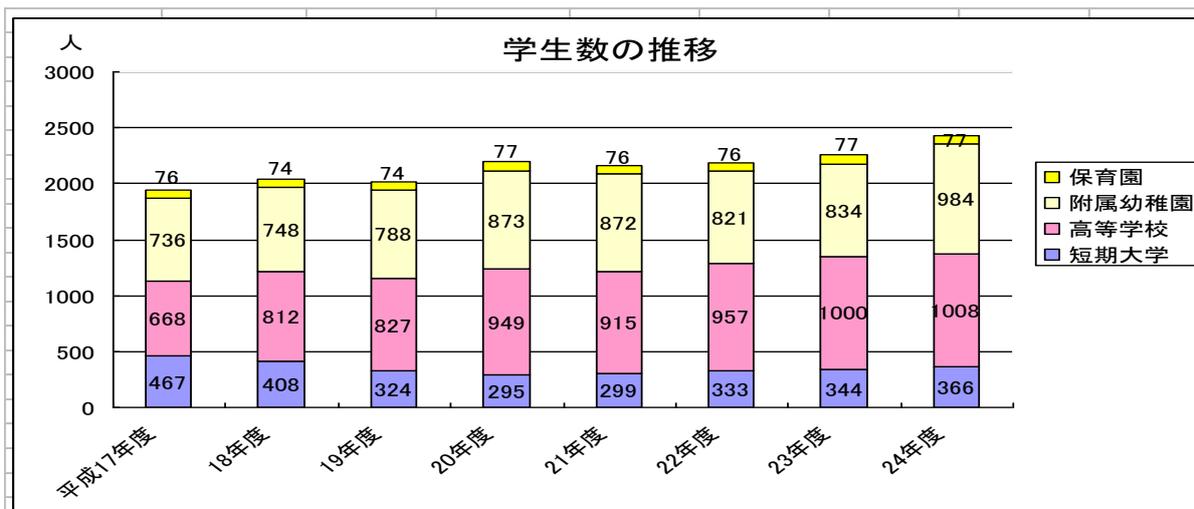
資金収支計算書	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
学生生徒納付金収入	1,040,330	27.0%		1,072,711	24.4%		1,135,765	22.2%	
手数料収入	34,340	0.9%		35,667	0.8%		34,932	0.7%	
寄付金収入	9,493	0.2%		13,513	0.3%		11,386	0.2%	
補助金収入	556,910	14.5%		662,839	15.1%		661,526	12.9%	
資産運用収入	32,142	0.8%		37,920	0.9%		67,429	1.3%	
資産売却収入	97,400	2.5%		399,700	9.1%		350,000	6.8%	
事業収入	152,318	4.0%		33,758	0.8%		33,768	0.7%	
雑収入	51,129	1.3%		63,156	1.4%		117,560	2.3%	
前受金収入	266,547	6.9%		272,417	6.2%		234,485	4.6%	
その他の収入	282,924	7.3%		330,473	7.5%		933,940	18.2%	
資金収入調整勘定	△319,624	-8.3%		△326,730	-7.4%		△346,565	-6.8%	
前年度繰越支払資金	1,649,222	42.8%		1,797,566	40.9%		1,884,406	36.8%	
資金収入合計	3,853,131	100.0%		4,392,990	100.0%		5,118,632	100.0%	
人件費	1,118,063	29.0%		1,167,403	26.6%		1,249,656	24.4%	
教育研究経費支出	263,363	6.8%		284,698	6.5%		282,127	5.5%	
管理経費支出	155,568	4.0%		168,309	3.8%		231,036	4.5%	
借入金等利息支出	1,191	0.0%		974	0.0%		757	0.0%	
借入金等返済支出	6,660	0.2%		6,660	0.2%		6,660	0.1%	
施設関係支出	70,042	1.8%		11,701	0.3%		388,874	7.6%	
設備関係支出	24,177	0.6%		35,998	0.8%		31,927	0.6%	
資産運用支出	200,132	5.2%		550,118	12.5%		536,592	10.5%	
その他の支出	300,333	7.8%		366,226	8.3%		420,901	8.2%	
資金支出調整勘定	△83,964	-2.2%		△83,503	-1.9%		△95,452	-1.9%	
次年度繰越支払資金	1,797,566	46.7%		1,884,406	42.9%		2,065,554	40.4%	
資金支出合計	3,853,131	100.0%		4,392,990	100.0%		5,118,632	100.0%	

平成24年度 消費支出構成比率



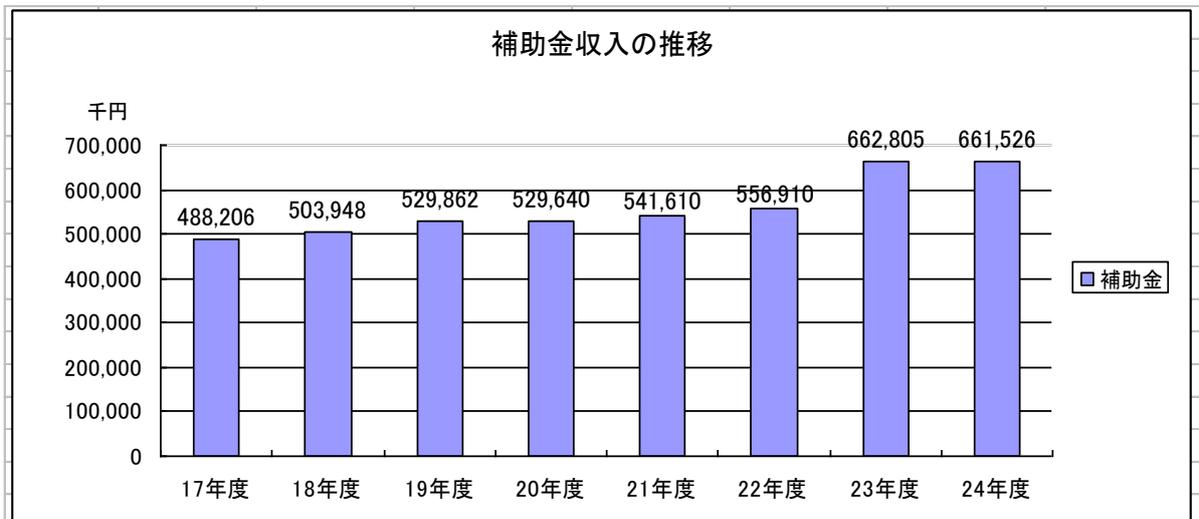
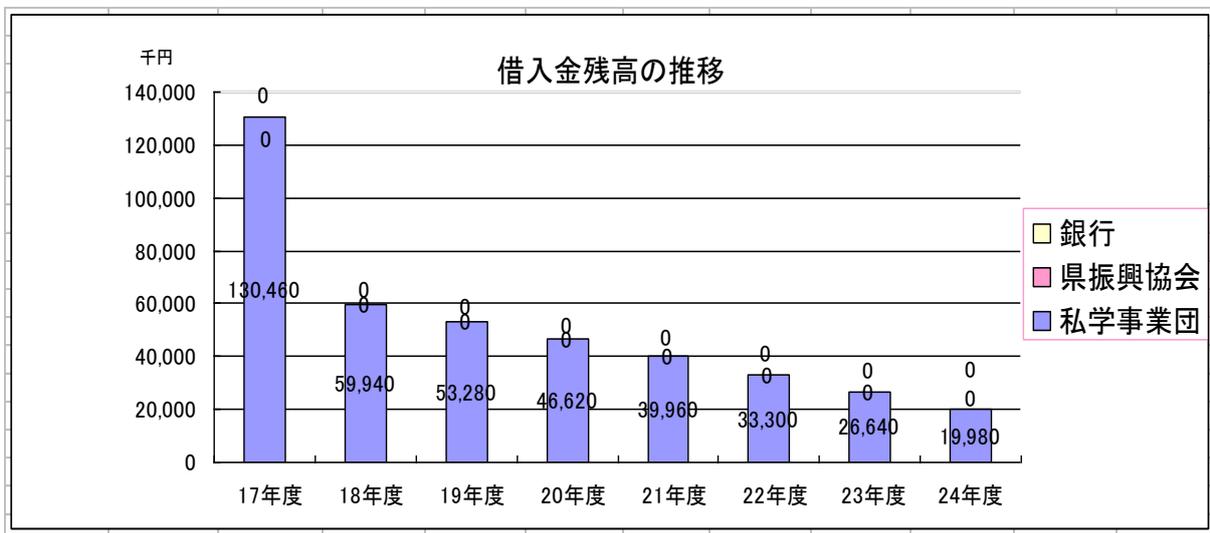
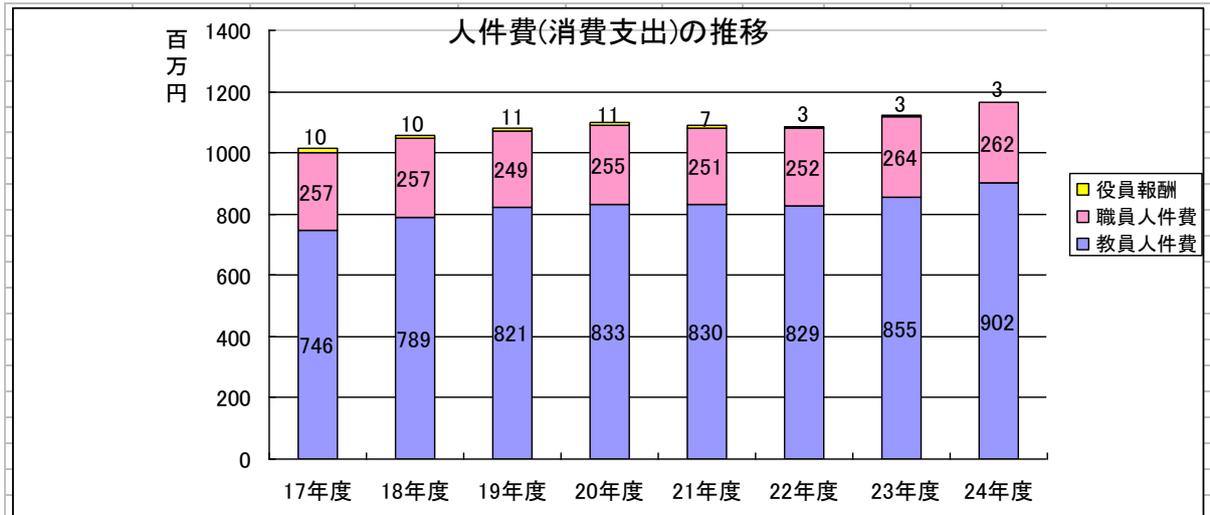
平成24年度 帰属収入の構成比





◆◆ 主要財務比率の経年比較表 ◆◆

比率	算式(×100)	平成21年度決算	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度決算
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	60.8	58.4	64.3	60.7
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	111.9	104.2	115.1	110.3
教育研究経費支出	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	20.8	21.0	21.6	20.0
管理経費支出	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	10.1	9.4	9.7	12.1
消費支出比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	91.4	88.9	95.7	92.9



平成25年 5 月 17 日

監 査 報 告 書

学校法人 湊川相野学園
理事長 浅井 祐子 殿

学校法人 湊川相野学園

監 事 下 山 隆 一 郎 印

監 事 山 野 上 素 充 印

私たちは、学校法人湊川相野学園の監事として、私立学校法第37条4項に基づいて同学園の平成24年度(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)における計算書類(資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表並びに附属明細表)及び理事の業務執行状況について監査を行いました。

監査の結果、私たちは上記の計算書類は学校法人会計基準(文部省第18号)に準拠しており、学校法人湊川相野学園の平成25年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する会計年度の経営状況を適正に表示しているものと認めました。また、理事の業務執行状況に関する不正の行為、または法令、もしくは寄附行為に違反する事実のないことを確認いたしました。